

電機業の信用力評価

(1) 業界の特徴

電機業界には、各種部品、白物家電、民生用電子機器、産業用電子機器等を供給するメーカーから総合電機メーカーまで幅広く存在します。すそ野が広いことから、国内の消費、設備投資動向の影響を受けるものもあれば、世界的な需要動向に左右される製品も存在します。概して技術力の高さを背景に国際的に競争力を有する製品が多いのが大きな特徴の一つです。

シリコンサイクルやクリスタルサイクルを代表として需要の変動が高く、技術革新のスピードも速くなっています。加えて価格低下プレッシャーも強いことから、コスト競争力確保のため、比較的早くアジアなどへ生産移管を進めています。

近年、製品のライフサイクルが速くなっているうえ、技術難易度の高まりから研究開発負担も増加しています。また、アジアメーカーとの競合も激化する方向にあることから、安定的に収益を確保することが難しくなっています。このため、総合電機メーカーを筆頭に「事業の選択と集中」に注力し、同業他社とのアライアンス、非コア事業の売却、M&Aといった事業構造改革への取り組みに積極的です。

(2) 格付けの視点

(a) 収益の平準化

需要の好不況の波が大きく、安定した収益が上げづらい業種です。このため、JCRでは単年度だけでなく、需要サイクルといった一定期間でのすう勢的な評価を特に重視して格付けに反映させています。とはいえ、収益を平準化することが業界の大きな課題であり、安定化のための施策やその実効性に注目しています。

(b) 製品の競争力・技術開発力の向上

製品価格の低下プレッシャーが強い市場の中で、キャッシュフロー創出力を拡大させる要素の一つとして、製品の競争力、つまり市場占有率の高さは重要なファクターです。高い市場シェアを有していれば、価格交渉力も強く、市場が構造的な変化を示しても、その影響を循環的なものととどめることが可能だと考えられます。製品の競争力が維持・向上するためには、収益動向にかかわらず継続的な研究開発や設備投資を行っているかどうかなどが大きなポイントとしてあげられます。

(c) 用途の開拓

電機業界の成長を牽引してきた大きな要因の一つとして、技術革新のスピードの速さとそれによる新たな用途の開拓があげられます。近年の自動車業界における需要拡大に代表されるように、今後もデジタル化技術の進展をベースとした製品の世代交代により、いかに安定した用途を確保していけるかが注目されます。

(d) コスト削減への取り組み

恒常的に価格低下プレッシャーの強い業界特性を持っているため、事業環境の悪化局面だけでなく、好況時にも継続的なコスト削減への取り組みが収益変動を軽減し、不況時の抵抗力が増すと考えられます。

(e) 財務基盤の強化

事業の変動リスクが大きいため、安定した収益基盤を有する産業と比較して、財務基盤はより高い水

準が望まれます。競争力強化のための設備投資も必要なことから、リードタイム短縮による在庫圧縮など資産の効率化を進めながら、財務構成を改善させることができるか注視していきます。

以 上